



# ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和2年12月24日発行 文責 校長 副島 和久

## 充実した2学期！ ありがとうございます！

### 学校教育目標、目指す児童像の実現状況は？

新型コロナウイルスの影響などもあり、いろいろな予定変更を余儀なくされましたが、保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで、学校行事等もほぼ予定通りに実施することができ、充実した2学期にすることができました。ありがとうございました。

本校の学校教育目標「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成！」と目指す子ども像「かしこく、やさしく、たくましく」に沿って、校長としての2学期の振り返りをしましたので、ぜひ、各家庭におかれましても、お子様の2学期の様子と照らし合わせながらお読みください。

◎よくできていると思うこと ●課題とまっていること



学校HPもご覧ください

#### かしこく(←ともに学び合う多良っ子)

授業はもちろん、学校や家庭で直面する様々な課題を「自分の事」としてとらえることができ、一人で考えるだけでなく、友達や家族、先生などに関わりながらよりよく解決しようとする子どもを目指しています。

◎授業の中では、ペアやグループでの活動で友達と進んで関わりながら生き生きと学んでいる子どもたちの姿が多く見られました。

◎児童会活動においても、代表委員会などにおいて、学校の取組や課題を「自分の事」として捉え、真剣に議論することができていました。12月の人権集会は立候補してくれた実行委員のメンバーが中心になって活躍してくれました。

●一部に、学習用具の忘れや宿題忘れ、「たらっ子」の提出忘れなど基本的な学習習慣・生活習慣の定着が十分でない子どもたちがいます。家庭でのチェックなど、保護者の方をお願いしていることが十分でないご家庭もあります。お忙しいとは思いますが、よろしく願います。(特に低学年から中学年にかけての保護者のかかわりの量や質は後々まで影響します。)



#### やさしく(←笑顔いっぱいの多良っ子)

美しいものを見て、「きれいだな」と感じることができたり、困っている友達に気付いてあげたりするなど感性が豊かであり、自分以外のいろいろな価値観や考え方を認めることができ、「ありがとう」という気持ちや相手を思いやる気持ちを言葉や行動で示すことができる子どもを目指しています。

◎全体的には、まわりの友達をいたわったり、やさしく声をかけたりしてくれる子どもたちが多くいます。

◎運動会などの学校行事に取り組む中で、いろいろな他者との関わり方を学び、子どもたちが成長しているように感じました。特に、応援リーダーを務めたり、係活動のリーダーを務めたりしている子どもたちの運動会の取組を通しての成長には目を見張るものがありました。



●一部に、友達が嫌がることを言ったりしたりするなど、いじめにつながる行為やいじめと認知しなくてはいけない行為があり、学校全体として指導にあたるがありました。担任の先生、生徒指導の先生を中心に関係職員が連携しながら、いかなる理由があろうとも、その行為は許されないということを伝えてきています。

◎掃除に対する意識は少しずつよい方に変わっていると思います。ルーティーンとしての掃除だけではなく、「汚れているところをきれいにする」という意識をもって取り組むことができる子どもがいますし、増えてきました。



### たくましく(←元気っぱいの多良っ子)

規則正しい生活を送り、自分やまわりの人が危なくなるようなことはしないなど、体や心がいつも健康であるように気を付け、いつも元気で生き生きと活動し、何事も最後まであきらめないで、粘り強く取り組むことができる子どもを目指しています。

◎学校生活全般において、元気で生き生きと活動している子どもたちが多くいます。

◎●あいさつは全体的に目を見て、笑顔で明るくできる子どもたちが増えていきます。残念ながら、一部そうでない子どもたちもいます。朝の表情がすぐれない子どもを見ると、何かあったのではないかと心配です。

◎●2学期を通して、命に関わるような大きな事故などはありませんでしたが、学期を通して、骨折などいろいろなけがをしている子どもが多かったように思います。登下校中や休み中については、大人の目をもっとも行き届きにくくなりますので、ご家庭でも交通安全などに関わっては、十分にご指導をお願いしたいと思います。

◎●全校の欠席日数は昨年度に比べるとかなり少なくなりました。しかしながら、個人的に見ると、体調不良などでの欠席が目立っているために心配な子どももいました。

◎●一般的に規則正しい生活は送れているようですが、家庭でのゲームをしている時間などが心配な子どもたちがいるように思います。ゲームは、小学校のときに制御できないと取り返しのつかないことになることがあります。

◎先生方のご指導のおかげもあり、いろいろなことに対して、あきらめずに粘り強く取り組んでいる子どもたちの姿が多く見られました。なわとび大会では、得意な子も苦手な子もいっしょに励まし合いながら頑張っていました。

◎●新型コロナウイルス感染防止対策に関わっては、おおむねマスク着用などもよくできていますが、一部に守れていない子どもたちもいます。



各家庭におかれましても、2学期のお子様のがんばりを褒めていただくとともに、冬休みから3学期に向けて頑張らなくてはいけないことをお子様と確かめていただくようお願いいたします。

また、冬休み中は、年末・年始にもあたり、世の中が慌ただしくなるとお思いますので、子どもたちが交通事故に遭ったり、事件等に巻き込まれたりすることがないようにご家庭でもご指導ください。また、計画的な学習、金銭の管理、規則正しい生活の維持などにもご配慮いただければと思います。

## お詫び 西日本新聞「ヤング川柳」!

学校便り第34号で紹介しました田中かのんさんの作品を【佳作】としていましたが、正しくは【三席】でした。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

【三席】 母作る料理はいつも目分量 4年1組 田中かのんさん

選者の真島久美子先生は次のようにコメントしていました。台所に立つお母さんは、まるで魔法使用のように調味料を操ります。なぜ分量であんなにおいしい料理が作れるのでしょうか。その秘密はみんなが「お母さん」になったら解き明かされるのかもしれないね。